Panasonic®

取扱説明書

ポールタイプ道路照明器具

保管用

●製品概要

※本製品の適合ランプは、別紙の【適合ランプ一覧表】に記載されています。
内容をご確認のうえ、必ず適合ランプをご使用ください。

受　圧　面　積	正面：0.074㎡　側面：0.111㎡	曲面ガラスタイプ　正面：0.075㎡　側面：0.118㎡
防水性能	防雨形 防湿形ではありません。湿度85%を超える場所では使用しないでください。	
使　用　場　所	屋外の一般的な場所 振動や衝撃の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、塩害地域では使用しないでください。	
使　用　温　度　範　囲	-5℃～35℃	
適合ポール（アーム）挿入寸法	Φ60.5×120L	

●器具の配線工事は必ず工事店、電器店（有資格者）などに依頼してください。
一般の人の配線工事は法律で禁止されています。

施工説明　**施工者様へ、この取扱説明書は、ご使用になるお客様に必ずお渡しください。**

施工者様への安全に関するご注意

⚠ 警告　作業に不備がありますと人身事故等を引き起こす危険性がありますので本書を熟読ください。

- ●施工は取扱説明書に従って正しくおこなってください。
  施工に不備があると、火災、感電、落下によるケガのおそれがあります。
- ●下向照射取付専用器具です。上向き・横向き・吊下げなどの状態には取付けできません。
  指定以外の取付けをすると、浸水による火災、感電、落下によるケガのおそれがあります。
- ●器具を改造しないでください。
  火災、感電、落下によるケガのおそれがあります。
- ●安定器別置形です。使用するランプ、電圧、周波数を確認のうえ、適正なものをご使用ください。
  ランプの破裂、火災のおそれがあります。
- ●ランプは器具銘板や取扱説明書に記載された適合ランプを、安定器との適合を確認のうえ、使用してください。
  ランプの破裂、火災のおそれがあります。
- ●振動や衝撃の多い場所、腐食性ガスの発生する場所、湿度85%を超える場所、塩害地域では使用しないでください。
  火災、感電、落下によるケガのおそれがあります。
- ●接地工事は電気設備技術基準に従って確実におこなってください(D種接地工事)。
  接地が不完全な場合、感電のおそれがあります。
- ●電源接続は、取扱説明書に従って確実におこなってください。
  火災、感電のおそれがあります。
- ●前面ガラスは、衝撃が加わると破損するおそれがあります。
  器具の持ち運びや取付工事の際、キズが付かないよう取扱いにご注意ください。
  ガラスの破損・落下によるケガや事故のおそれがあります。
- ●強風時には施工作業をおこなわないでください。
  強風に上部カバーがあおられると、器具破損・落下によるケガや事故のおそれがあります。
- ●上部カバーをあけて作業をおこなうときは、必ず開閉ストッパーをかけておこなってください。
  開閉ストッパーをかけずに作業をおこなうと、器具破損・落下、上部カバー急閉によるケガや事故のおそれがあります。
- ●上部カバーをあけて作業をおこなうときは、上部カバーに体重や荷重を絶対に加えないでください。
  （上部カバーにぶらさがったり、無理に押すことは絶対にしないでください。）
  荷重を加えると、器具破損・落下によるケガや事故の原因となります。
- ●上部カバーをあけて作業をおこなったあとには、開閉ラッチをしっかりと閉め、上部カバーと本体が確実に固定されていることを確認してください。
  開閉ラッチの閉めが不確実な場合や、かけ忘れがあると、器具破損・落下によるケガや事故、火災・感電のおそれがあります。

⚠ 注意

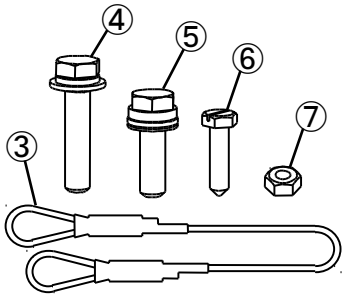
- ●この器具は一般屋外用(防雨形)です。それ以外の場所では使用しないでください。
  過熱による発煙、火災の原因となることがあります。
- ●器具の耐風速は60m/sです。それ以上の風速を受ける場所では使用しないでください。
  強風による破損、落下によるケガの原因となることがあります。
- ●周囲温度が35℃を超える場所では使用しないでください。
  また、施工時など一時的な点灯確認以外で日中は点灯しないでください。
  点灯不良、火災、感電の原因となることがあります。
- ●寒冷地で使用する場合、つららが落ちると危険が生じるような場所には設置しないでください。
  つらら落下による怪我の原因となることがあります。

●付属品

この器具には、下表一式が付属されています。
※施工前に必ずご確認ください。

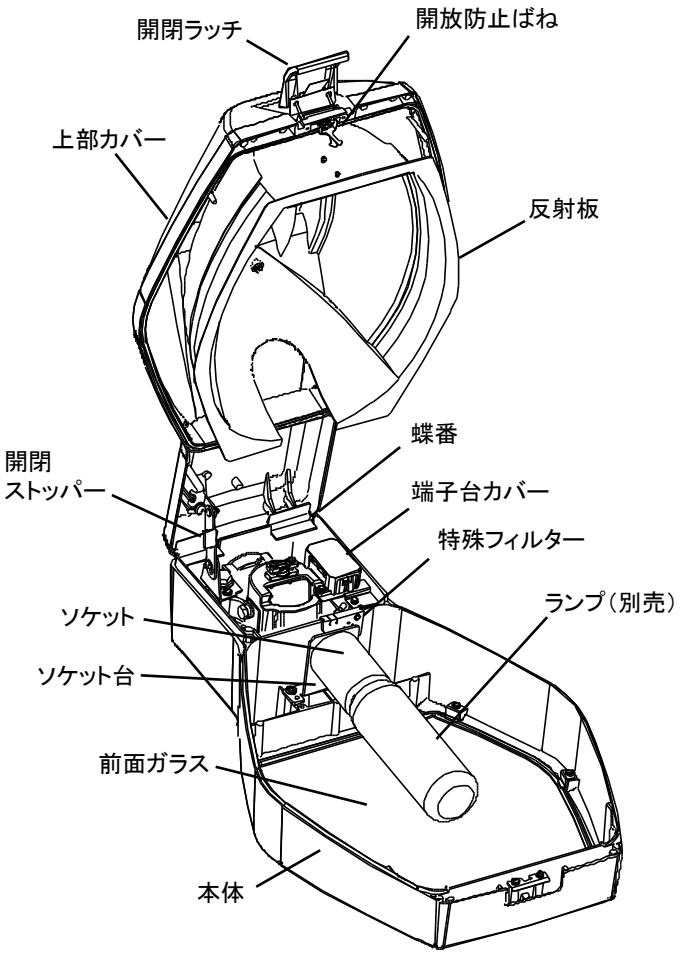
番号	名　称	数量
①	取扱説明書（本書）	１葉
②	適合ランプ一覧表	１葉
③	落下防止ワイヤー　（L=３３０）	１本
④	落下防止ワイヤー固定ボルト（六角：M８×４０　ばね・平座組）	１本
⑤	抜止めボルト（六角：M８×３０　ばね・平座組）	１本
⑥	接地ボルト（六角：M６×２５）	１本
⑦	接地ボルト緩み止めナット（M６）	１個

※付属品は器具の内部に袋詰めされています。



第１図　付属品

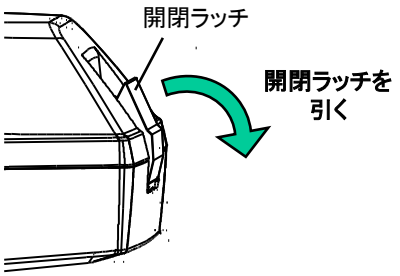
●各部の名称［全体図は一部を抽象化した構造図です。］



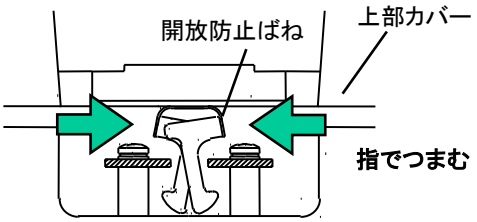
第２図　全体図

●上部カバーの開放方法（第３図）

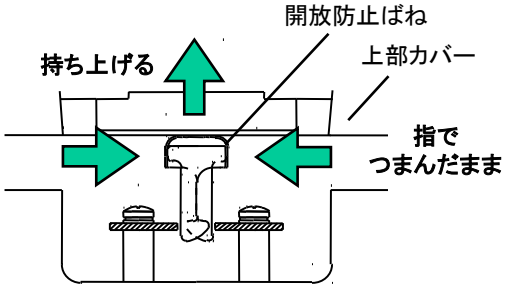
１．**開閉ラッチ**を引いて開閉ラッチを解除してください。



２．**開放防止ばね**を指でつまんでください。
※**上部カバー**を軽く持ち上げると、
操作空間が広くなり、つまみやすくなります。
※指をはさまないようご注意ください。



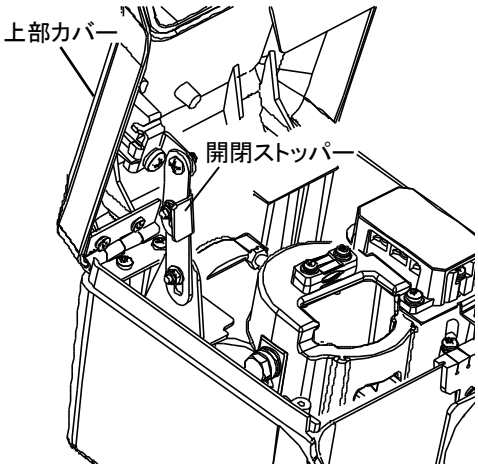
３．**開放防止ばね**を指でつまんで解除しながら、**上部カバー**を持ち上げ開放してください。



上部カバーを開けて作業をおこなうときは、必ず開閉ストッパーをかけてからおこなってください。
（**開閉ストッパーの使用方法**　を参照ください。）
※開閉ストッパーをかけずに作業をおこなうと、
器具破損・落下、上部カバー急閉によるケガや事故の原因となることがあります。

作業中は開閉ストッパーに触れないでください。
（ランプ交換や清掃時も同様）
※器具破損・落下、上部カバー急閉によるケガや事故の原因となることがあります。

●開閉ストッパーの使用方法



第４図　開閉ストッパー

開閉ストッパーをかけるまでは上部カバーから手を放さないでください。
※上部カバー急閉によるケガや事故の原因となることがあります。

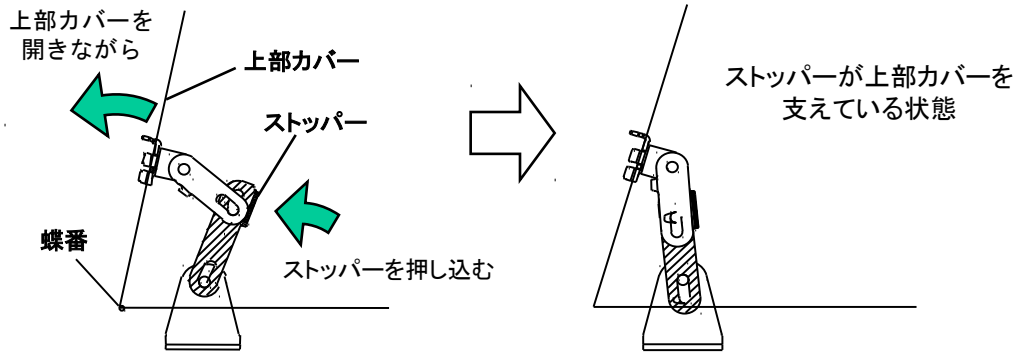
上部カバーを開けて作業をおこなうときは、必ず開閉ストッパーをかけてからおこなってください。
（**開閉ストッパーの使用方法**　参照）
※開閉ストッパーをかけずに作業をおこなうと、器具破損・落下、上部カバー急閉によるケガや事故のおそれがあります。

作業中は開閉ストッパーに触れないでください。
（ランプ交換や清掃時も同様）
※上部カバー急閉によるケガや事故の原因となることがあります。

開閉ストッパー操作時は、指や電線をはさみ込まないようにご注意ください。
※ケガや漏電・感電のおそれがあります。

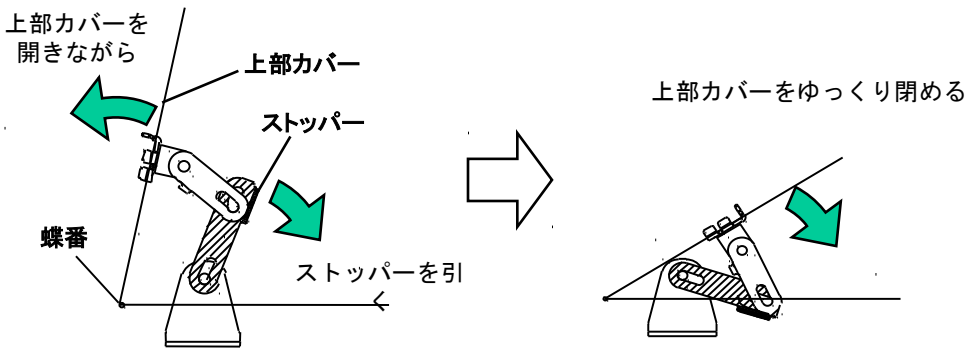
○開閉ストッパーのかけ方　（第５図）

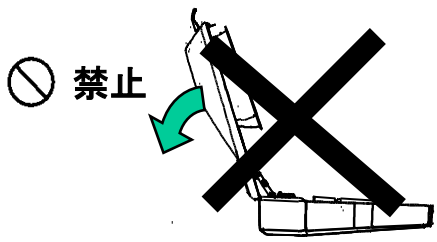
上部カバーを開きながら、**ストッパーの斜線部**を蝶番の方向へ押し込む。



○開閉ストッパーの解除方法　（第６図）

上部カバーを開きながら、**ストッパーの斜線部**を蝶番と反対方向へ引く。





上部カバーをあけて作業をおこなうときは、上部カバーに**体重や荷重を絶対に加えないでください。**
※荷重を加えると、器具破損・落下によるケガや事故の原因となります。

●器具施工前の注意

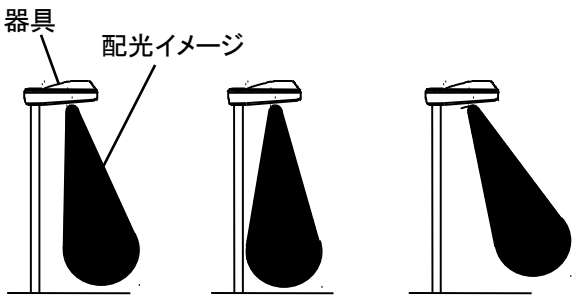
○ **YAX34693** は、ソケット台の位置を調整することにより、３パターンの配光設定が可能です。下記を参照し、器具の配光方向に合わせて調整してください。

・出荷時、ソケット台はＡの位置に設定されています。

・配光方向を変更する場合は、ソケット台を固定している**Ｍ５ねじ２本**を取りはずし、ご希望の配光に合わせてソケット台を移動して**Ｍ５ねじ２本で**確実に固定してください。

※ソケット台の固定位置を間違えますと、希望の配光方向になりません。
※ねじの締付けが不十分な場合、ランプ破損や不点の原因となります。

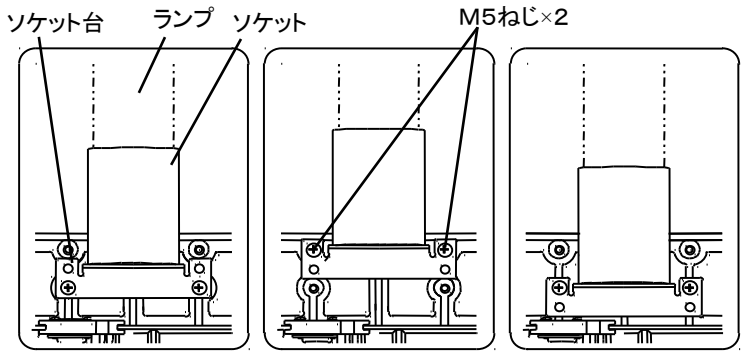
－－－－－配光方向　イメージ図－－－－－－



A:標準　**B:歩道を明るくしたい場合**　**C:路肩が広い場合**

第７図

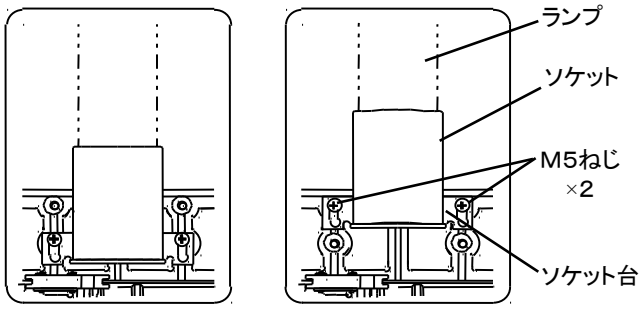
－－－－－－－－ソケット台固定位置－－－－－－－－



A:工場出荷時　**B:ガラス側で固定**　**C:ポール側で固定**

第８図

○ **YAX34695** は、使用するランプに合わせてソケット台の位置を調整する必要があります。下記を参照し調整してください。



270～400W取付位置
（工場出荷時）　**110～250W取付位置**

第９図

・出荷時、ソケット台は270～400Wの位置に設定されています。

・110～250Wのランプを使用する場合は、ソケット台を固定している**Ｍ５ねじ２本**を取りはずし、110～250W取付位置にソケット台を移動し、**Ｍ５ねじ２本で**確実に取付けてください。

※ねじの締付けが不十分な場合、ランプ破損や不点の原因となります。

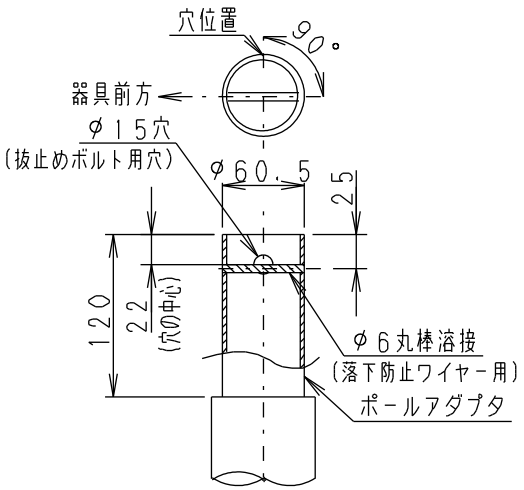
○ポールアダプタの加工

第１０図を参照し、ポールアダプタに**φ１５～２０㎜の穴加工**を施してください。

※穴位置や寸法が異なると、抜止めボルト（六角：Ｍ８×３０）が器具に取付けられない場合があります。

落下防止ワイヤーをご使用の際は**φ６丸棒**を図の位置へ溶接してください。

※溶接位置が異なると、落下防止ワイヤーが器具に取付かない場合があります。

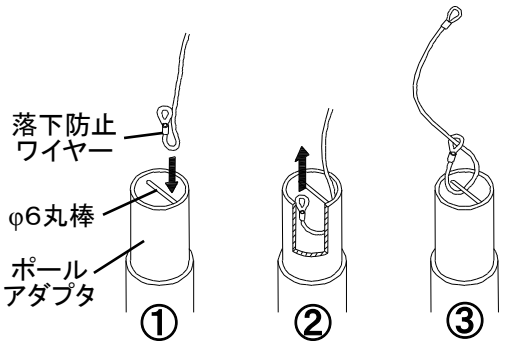


第１０図

●器具の取付方法

・取付は、必ず電源を切っておこなってください。
※感電、落下によるケガのおそれがあります。

１．**落下防止ワイヤー**を使用する場合は、**第１１図**を参照し、ポールアダプタに取付けてください。



第１１図

① **落下防止ワイヤー**をU字形に曲げ、ポールアダプタ先端部の**φ６丸棒**より奥まで挿入し、手をはなしてください。

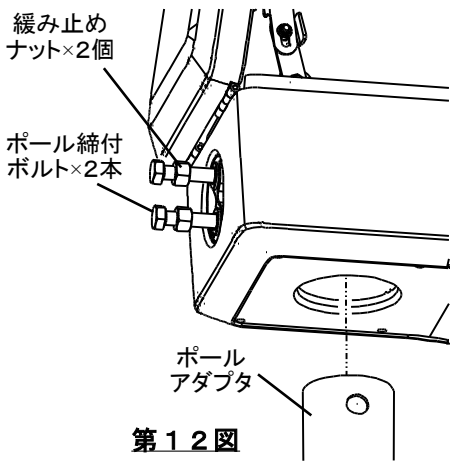
② 落下防止ワイヤー先端部を引張ってください。

③ 先端部がポールアダプタから出たら、もう一方の先端部を輪の中に通してください。

２．**上部カバーの開放方法（第３図）**を参照し上部カバーを開放し、次に**開閉ストッパーの使用方法（第４，５図）**を参照して上部カバーに開閉ストッパーをかけてください。

※上部カバーを開けて作業をおこなうときは、必ず開閉ストッパーをかけてからおこなってください。

※不備がありますと、器具破損・落下、上部カバー急閉によるケガや事故のおそれがあります。



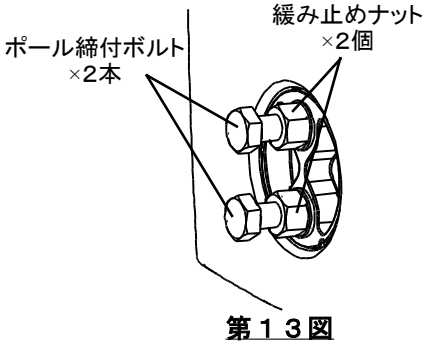
第１２図

３．**ポール締付ボルト×２本**（六角：Ｍ１０×８０）と**緩み止めナット×２個**（六角：Ｍ１０）を緩めてください。**（第１３図）**

４．本体をポールアダプタに挿入し、３．で緩めた**ポール締付けボルト×２本**と**緩み止めナット×２個**を締め、**器具をポールアダプタへ確実に固定してください。**
（締付けトルク１７～２４．５Ｎｍ） **（第１２・１３図）**

落下防止ワイヤーを使用する場合は、ワイヤーを器具内部へ引き込みながら挿入し固定してください。

※不備がありますと、器具落下によるケガや事故の原因となることがあります。



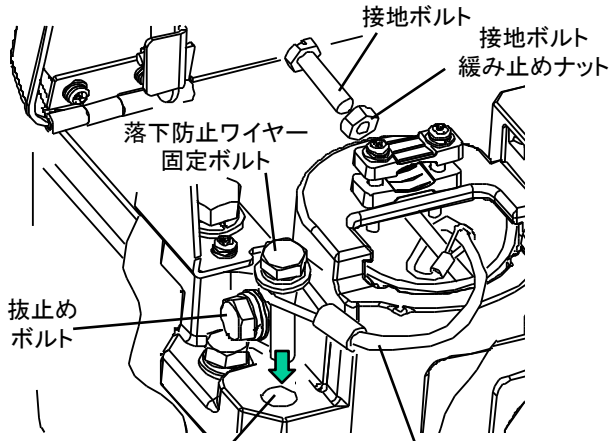
第１３図

５．落下防止ワイヤーを使用する場合は、付属の**落下防止ワイヤー固定ボルト（六角：Ｍ８×４０）**を使用して、**本体のＭ８タップ**に確実に固定してください。**（第１４図）**

※不備がありますと、器具落下によるケガや事故の原因となることがあります。

６．付属の**抜止めボルト（六角：Ｍ８×３０）**と**接地ボルト（六角：Ｍ６×２５）、接地ボルト緩み止めナット（六角：Ｍ６）**を取付けてください。**（第１４図）**

※不備がありますと、器具落下によるケガや事故の原因となることがあります。



第１４図

●結線方法

１．ポール内部から電線を器具内に引き込み、**配線押え**で電線を固定してください。**（第１５、１６図）**

※不備がありますと、電線脱落・電線破損による感電、漏電のおそれがあります。

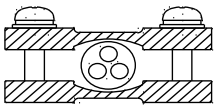
２．電線は３芯ケーブル（**Φ１．６，Φ２．０または３．５㎟以下**）を使用し、先端に**必ず、絶縁被覆付端子（別途）**を圧着してください。**（第１７図）**

※不備がありますと、器具破損による感電、漏電のおそれがあります。

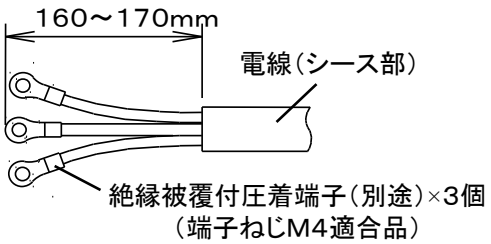
注）開閉ストッパーに電線を挟まないこと

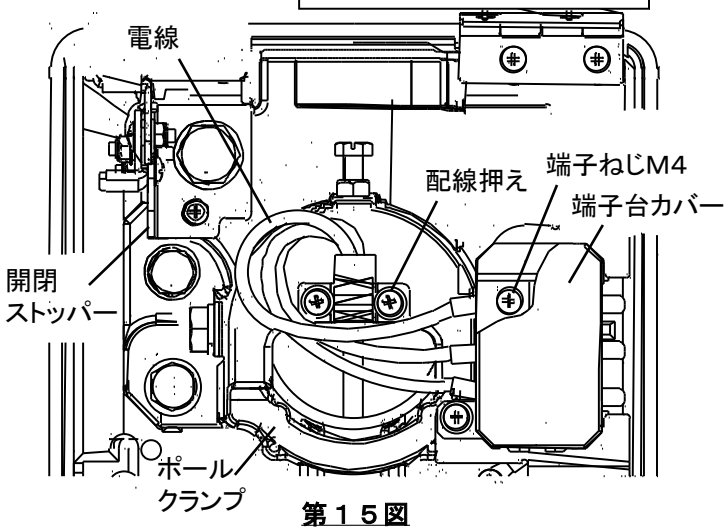
○電線の固定方法（第１６図）

ねじを緩めてケーブルを通し、シース部分をはさんで、ねじを締付けて固定する。



○電線の先端加工（第１７図）





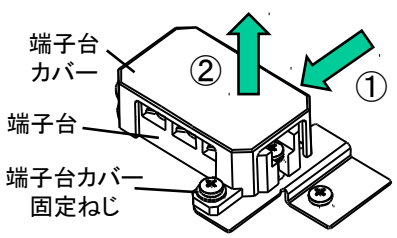
第１５図

３．**端子台カバー固定ねじ**を緩め、**端子台カバー**を取りはずしてください。

（第１８図）

○端子台カバーの取りはずし方法

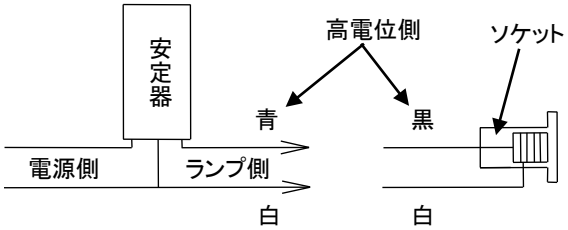
端子台カバー固定ねじを緩めてから矢印①の方向にスライドさせ、先端のツメをはずし持ち上げて取りはずす。



第１８図

４．器具に接続する安定器のランプ側配線は、**第１９図**を参照し、高電位側の口出し線の色を合わせて、確実に結線してください。アース線は、**D種設置工事**をおこなってください。

※接続が不完全な場合、発熱・火災のおそれがあります。



第１９図

５．**端子台カバーの取りはずし方法**の逆の手順で**端子台カバー**を取り付けてください。

端子台カバーを破損しないように端子台カバー固定ねじの締め込み過ぎにご注意ください。

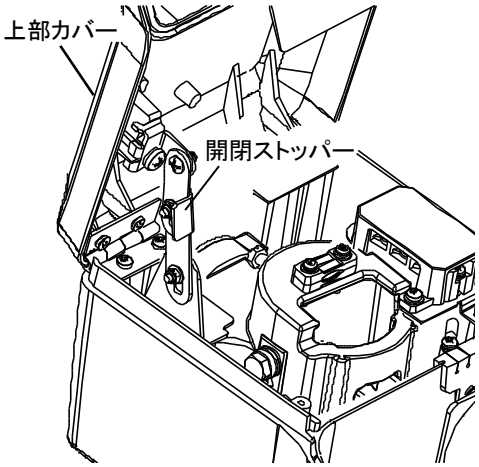
※不備がありますと、端子台カバー破損のおそれがあります。

●ランプの取付け方法

1．**上部カバーの開放方法（第３図）**を参照し**上部カバー**を開放し、次に**開閉ストッパーの使用方法（第４、５図）**を参照して、**上部カバー**に**開閉ストッパー**をかけてください。

※上部カバーを開けて作業をおこなうときは、必ず開閉ストッパーをかけてからおこなってください。

※不備がありますと、器具破損・落下、上部カバー急閉によるケガや事故のおそれがあります。



2．ランプをソケットに最後まで確実にねじ込んでください。**（第２０図）**

※不備がありますと、ランプ不点のおそれがあります。

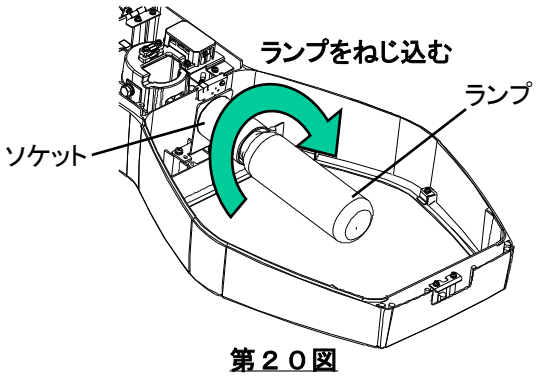
3．**開閉ストッパーの解除方法（第６図）**を参照して**開閉ストッパー**を解除し、**上部カバー**を閉めてください。

※電線を開閉ストッパーに挟まないようにご注意ください。

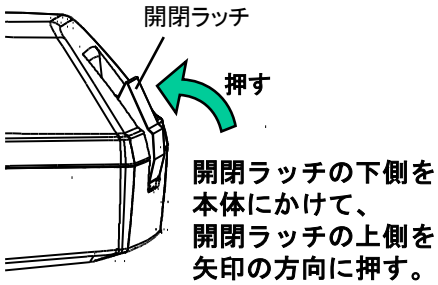
4．**必ず開閉ラッチを確実に閉めてください。（第２１図）**

※不備がありますと、器具やランプ破損、器具落下によるケガや事故、火災・感電の原因となります。

※開閉ラッチへの指のはさみ込みにご注意ください。



第２０図



第２１図

取扱説明　**お客様へ、この取扱説明書は必ず保管してください。**

ご使用前に、この安全上のご注意を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

お客様への安全に関するご注意

警告　作業に不備がありますと人身事故等を引き起こす危険性がありますので本書を熟読ください。

●器具の改造、部品の交換はしないでください。
火災、感電、落下によるケガのおそれがあります。

●万一、煙が出たり、異臭がするなど異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店または工事店にご相談ください。
異常状態のまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

●前面ガラスは衝撃が加わると破損するおそれがあります。取扱いにご注意ください。

●欠けやひび割れの発生している前面ガラスは使用しないでください。
前面ガラス落下によるケガのおそれがあります。

●ランプ点灯中および消灯直後の器具は高温になっていますので触らないでください。
やけどのおそれがあります。

●ランプは器具銘板や取扱説明書に記載された適合ランプを、安定器との適合を確認のうえ、使用してください。
ランプの破損、火災のおそれがあります。

●強風時には保守・点検作業をおこなわないでください。
強風に上部カバーがあおられますと、器具破損・落下によるケガや事故の原因となります。

●上部カバーをあけて作業をおこなうときは、必ず開閉ストッパーをかけてからおこなってください。
かけずに作業をおこなうと、器具破損・落下、上部カバー急閉によるケガや事故の原因となります。

●上部カバーをあけて作業をおこなうときは、絶対に上部カバーに体重や荷重を加えないでください。
（上部カバーにぶらさがったり、無理に押したりしないでください。）
荷重を加えると、器具破損・落下によるケガや事故の原因となります。

●上部カバーをあけて作業をおこなったあとには、開閉ラッチをしっかりと閉め、
上部カバーと本体が確実に固定されていることを確認してください。
開閉ラッチの閉めが不確実な場合や、かけ忘れがありますと、器具破損・落下によるケガや事故、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

●ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切って、器具が十分冷えてからおこなってください。
感電、やけどの原因になることがあります。

●ランプ交換の際は、取扱説明書に従って確実におこなってください。
火災、感電、落下によるケガの原因になることがあります。

●照明器具には寿命があります。

●設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。（JIS C8105-1 解説による。）

●周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

●1年に1回は自主点検してください。

●3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。

●点検せずに長期間使い続けると、まれに、発煙、感電などに至る恐れがあります。

●寒冷地で使用する場合、器具の縁などにつららができることがあります。つららの除去を行ってください。
つらら落下による怪我の原因となることがあります。

お手入れ・ランプ交換

●器具の清掃について・・・汚れを落とす場合は、中性の石けん水をひたしたやわらかい布をよくしぼって拭き取り、石けんが器具に残らないように乾いた布で仕上げてください。
シンナーやベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
器具変色の原因となることがあります。

●ランプ交換について・・・ランプ交換は、器具や安定器との適合と、ランプの使用制限を確認のうえ、おこなってください(パナソニック製のランプをご使用ください)。

お客様へ　ランプ交換など保守のために、下記施工記録表をご確認のうえ、適切な保守部品をお求めください。
なお、安全のため保守作業は、できるだけ工事店、電器店にご依頼ください。

●保証について

●保証期間
この照明器具の保証期間は１年間です。
ただし、消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。

●保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

●補修性能部品（電気部品）について
弊社はこの照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後、６年間保有しています。
補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

●保守のための記録

工事完了後、今後の施設の安全維持のため「施工記録表」に記録のうえ、お客様にお渡しください。

施　工　記　録　表					
工 事 名		取付年月		器具形式	
工事店名		取付台数		使用ランプ	
電話番号		ﾌﾞﾚｰｶｰNo.		使用電圧	

パナソニック株式会社　施設･店舗照明ビジネスユニット　〒571-8686 大阪府門真市門真1048
お問い合わせ先　パナソニックお客様ご相談センター 0120-878-365(フリーダイヤル) 0120-878-236(FAX)